

8月7日(日)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ
日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



チック・コリアの真髓「協調と統合」

8/6 サマーナイト・ジャズ
チック・コリア トリビュート Vol.2
名プレイヤーが集結！チック・コリアに捧ぐ

©T.Tairadate

ドラムの神スティーヴ・ガッドも来場（写真右）



左からミカ・ストルツマン、中川英二郎、井上陽介、リチャード・ストルツマン、宮本貴奈、宮本美季、ウィリアムス浩子、本田雅人、小池修、高橋信之介

お客様から

ジャズって楽しいなと思いました。(40代・rotanev) / すべての曲に迫力があって聞いていて楽しかった。また来たい。(10代・りんたろう) / マリンバにいやされ、クラリネットにうっとりし、ジャズ六重奏はキラキラでした！今日も満喫。本田雅人はただものじゃないことがよくわかりました。すごかった！(50代・川崎のYoko) / ミカ&リチャードの生演奏が最高でした！チック・コリアの大ファンなので、こうした演奏がコロナ禍において聴くことができ、とてもうれしいです。ありがとうございます。(50代・白うさぎ) / スーパープレイヤーの演奏をミュージアで聴けるなんて最高のぜいたく！マリンバとジャズの組み合わせも絶妙で良かったです。(60代・ミッキー) / チックの魂が降りてきている様でした。チックの魂につつまれて幸せな時間が過ごせました。すばらしい企画でした(60代) / チックさんのマリンバが見守る中、1部、2部違う編成でもとても楽しめました。2つのスペインを聴けたのは嬉しかったです。(50代・ゆきんこ) / R.シュトルツマン、現在も現役を継続していることに尊敬します！2部の宮本貴奈のセクステットはとても充実した響で素晴らしい！また聞きたいですね。(60代・ブラームス)

演 奏内容というよりも、2日間にわたる「チック・コリアトリビュート」企画を総括しつつ評したい。出演者は被っているが実質的には3つの形態(①8月4日は東京シティ・フィルと宮本貴奈率いる六重奏とミカ・ストルツマン/②6日のミカを中心とする第1部/③6日の宮本を中心とする第2部)を通して強く感じられたのは、昨年2月に亡くなったチック・コリアの真髓が「協調と統合」にあったということだ。

②はミカのアルバム『Spirit of Chick Corea』に収録された楽曲からのセレクト。ジャズ的な熱狂のなかでは聴き取りづらいこともある繊細な和声の変化や楽曲構造といっ

た作曲家としての手腕が浮かび上がることで、チックの音楽が内包するクラシック音楽的要素が自然と表出された。一方③は宮本を軸としつつ、異なるキャラクターの奏者が出はいる。その多様なジャズの背景が協調するというよりは彼らにとって最小公倍数であろう保守的なスタイルに落ち着くことが多く、(ジャズ史では再びアコースティックな編成に注目が集まった)1980年代におけるチックの楽曲でも、その新鮮さというより伝統との繋がりが感じられた。その気付きの後、①を配信で再見すると管弦楽版の“Spain”はクラシック色が強いようでいて、作曲家本人が編曲に携わっていること

もあり「協調と統合」が実現され、本企画のなかで最もチックらしい音楽となったのが興味深かった。

6日の客席には(70年代からチックと共演を重ねてきたドラマーの)ガッドの姿も。ミカのマリンバにあわせて膝を叩き、身体を心地よさそうに揺らす様子を見て、チック本人もこの場に居合わせて同じように聴いていたのではないかと思えてならなかった。

(音楽ライター 小室敬幸)



プレコンサートに登壇した武本和と Hiromu もコンサートに華を添えた

【明日の朝刊休みます】明日(8/8)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は8/9です。

配信控え室から

サマーミュージックは配信も充実！
見どころ・聴きどころや
配信の現場の声をお届けします。

サマーミュージック恒例のジャズ公演で
久々のスイッチャー。いつものクラシック
のコンサートと違う雰囲気を出そうと
張り切ったら、カットが多くなり指と腕
が痛くなりました……。音、映像ともに
ジャズならではのライブ感をお楽しみ
ください。(From Fg アライグマ)



本日の皆勤”指”
(提供：配信チーム)

**上記レビュー公演のアーカイブ配信は
8/8(月)正午から開始♪**

【出演】クラリネット：リチャード・ストルツマン
マリンバ：ミカ・ストルツマン
ジャズ六重奏：宮本貴奈(ピアノ)、井上陽介(ベース)、高橋信之介(ドラムス)、中川英二郎(トロンボーン)、本田雅人(サクソ)、小池修(サクソ)
ヴォーカル：ウィリアムス浩子、宮本美季

【配信限定コンテンツ】
オープニングインタビュー：ミカ・ストルツマン(マリンバ)
休憩時インタビュー：宮本貴奈(ピアノ)

三人の個性が光った協奏曲特集!



8/6 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ぜんが協奏曲! 3人のピアニストが競演

©藤本史昭

昭 和音楽大学内にあるテアトロ・ジョーリオ・ショウワで、すべてピアノ協奏曲によるコンサートが行なわれた。出演したのは、横山幸雄と古海行子、進藤実優。3人ともショパン国際ピアノコンクールに出場したピアニストだ。

進藤は、チャイコフスキー《ピアノ協奏曲第1番》を演奏。昨秋のショパンコンクールでも独創性に富んだ演奏を披露していたが、このコンサートでも鮮烈な個性を示した。「語り尽くしたい」との彼女の気持ちが音の一つひとつから強

烈に伝わり、ほとばしる情熱をもってメロディをたっぷりと歌い上げていく。ロマンティズムを湛えた演奏だった。古海はサン＝サーンス《ピアノ協奏曲第2番》。彼女らしい堅実な演奏だった。ショパンコンクールの時よりも感情表出の幅が広く、生気にあふれている。また、弱音では柔和な繊細さに満ち、思わずため息が出るほどの美しさであった。第2楽章のウィットのある表現や劇的なフィナーレなど、さまざまな表情を描き上げた。

長い間ベートーヴェン演奏に深く取

り組む横山は、ベートーヴェン《ピアノ協奏曲第4番》を弾いた。この作品のもつ叙情性を引き立て、気品のある音楽を作り上げていく。絶妙なベダリングによって音のさまざまな色彩や質感を生み出し、特に弱奏の多彩な表現は見事。作品の構築も揺るぎなく、音楽の呼吸も自然で、包容力を感じさせる貫禄のある演奏であった。太田弦のきめ細やかでキレのあるタクトに比べ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団も好演。

(道下京子・音楽評論)

お客様から

協奏曲のすばらしさ豊かさにどっぶりつかれました。3人のピアニストのそれぞれのピアノとの向き合い方(円熟の横山さん、真摯な進藤さん、ディミニッシュに響かせる古海さん)も見事!聴きごたえ十分でした。(50代・シグノフ) / ピアノ協奏曲を3曲も一度に聴くことはあまりないので楽しめました。(50代・こいち) / すばらしい演奏をありがとうございました。特徴的な3曲を続けて聴けて良かったです。サンサーンスははじめてでしたが美しい曲ですね。(60代・アマデウス) / サンサーンスのピアノが圧巻でした。力強さとダイナミックな一方で、軽やかなニュアンスが豊かな演奏が素晴らしかったです。ピアノコンツェルト3曲セットは珍しいですね。おかげで満腹状態です。(60代・shin)

上記レビュー公演のアーカイブ配信は8/9(火)正午から開始!

指揮: 太田弦
ピアノ: 横山幸雄
古海行子
進藤実優

パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



ふわ、サク、 絶品クロワッサン

コンサート前後にちょっと食べたいと思っているそこのあなた。小腹が空いてお店を物色しているそこのあなた。そう、あなたです。わたしはあなたの心に直接語りかけているのです。PAULに行くのです。JR川崎駅中央改札口から出てすぐのアトレ川崎に入るので。香ばしいパンの香り。おいし

ぎで一瞬で食べ終わるパン・ショコラ(270円)……。気づいたらなくなってしまう、クロワッサン(クーポンでGET。定価は237円)……。バターたっぷり、ボリュームがあるので、しっかりおなか

ふくれます。あなたも、この体験をするのです。そして、これオトク過ぎない?という衝撃を味わうのです……。大丈夫、損はさせませんよ……。 (事業&広報チーム も)

F アトレ川崎 3F
ベーカリーカフェ
PAUL

パートナーショップ特典
クロワッサン
1つサービス
※クーポン持参者のみ

コンサートと一緒にもうひとつのお楽しみ!
PARTNER SHOP
掲載店一覧はこちら
↑サービス対象店舗はこのPOPが目印! スマホからクーポン券を提示するだけ! クーポン券は7/23~8/11まで何度でも利用できます。公演がない日でももちろんOK!

フェスタサマーミュージーザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージーザ
#夏ジャン
て検索 & 投稿
お待ちしております!



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

御贖員につ!! よろしくお願ひします!
(じゃい)

私の所属する事業チームは連日公演をこなしながら、秋・冬の公演準備に取り掛かっています。今年10月にロンドン響、11月には東響×ソット指揮のサロメ、また秋に川崎市内各所でイベントが行われるジャズフェス・かわさきジャズのミュージーザ公演として、大西順子トリオ&オーケストラがやってきます。クリスマスは、ホールオルガニストの大木麻理とミュージカル界のスターが集うスペシャルプログラムもありますし、大晦日はホル・アドバイザー・秋山和慶と若手ライジングスターによる協奏曲の祭典も!

毎日 日刊サマーミュージーザ
Hobo Nikkan Summer Muza

サマーミュージーザも折り返ししました!今年もホール公演と配信のハイブリットでお届けしておりますが、お楽しみいただけています。すでしょうか?

スタツフ日誌